

八丈島 水産だより 5月号 2011



誕生！「あしたば」の新芽



まぶしい新緑

桜の花に代わり、山のふもとには木々の新芽で一斉に鮮やかな黄緑色になってきました。天気の良い日は少し汗ばむ位の陽気ですが、この時期に島を吹き抜ける風はとても爽やかで心地よいです。漁業では、皆が去年の冬から大いに期待していたカツオの群れをほとんど見ることなく、5月を迎えました。港ではトビウオやキンメダイ、少しですがカツオなども水揚げされています。

■ トビウオと軍艦マーチ



トビウオの水揚げ

八丈島の菊池さんが子供の頃（昭和30年頃）の話です。「昔はトビウオが大漁のとき、三根地区の漁協は、スピーカーで軍艦マーチを浜のすみずみまで鳴らして大漁を知らせていました。息を切らせて港に駆けていくと、漁師さんが見事な魚さばきでトビウオの選別をしています。じーっと見ていると、「もってけー」とトビウオをもらえるので、とても楽しみでした。」

今では軍艦マーチはなくなり子供が集まることもありませんが、トビウオの水揚げは多くの人が手伝うので、港は賑やかです。今年の漁も順調です！

■ 元気に朝市開催中！

毎月第3土曜日の漁協女性部の朝市が、4月も開催されました。多くの方に来ていただいたので、ムロアジメンチカツやムロ節ごはんなど定番のものは、すぐに売り切れてしまいました。今回は、トビウオのミンチを使った春巻やビンチョウマグロの自家製シーチキンを使ったサンドイッチの試作品が披露され、美味しい！と大評判でした。

トビウオミンチの春巻



自家製シーチキンサンド



朝市の様子